

賀茂地域と3大学協定

教育、観光中心に連携

静岡大、県立大、静岡文化芸術大と賀茂地域6市町は18日、包括連携協定を締結した。急速な過疎化に直面する中、伊豆半島南部の賀茂地域の活性化に向け教育や観光を中心に幅広い分野で協力する。

県立大の鬼頭宏学長は「大学側が積極的に地域に入り、ともに課題解決を目指したい」とあいさつ。連携幹事を務める西伊豆町の星野浄晋町長は「賀茂地域は観光が基幹産業。大学の意見を取り入れ、新しい形の観光や教育につなげたい」と呼び掛けた。



包括連携協定を締結した県内3大学と賀茂地域6市町の代表。過疎化に直面する中、協力して課題解決を目指す＝18日午後、下田市

各大学の特色をいかし、フィールドワークの場として医療福祉や景観づくり、人口減対策などでも連携する。各大学の所在地と距離が離れているため、情報通信技術（ICT）を活用。賀茂地域の教職員の研修や、小中高生が参加する交流会なども検討する。